

第7回飯綱町子育て世代支援施設建設検討委員会（令和2年3月30日開催）

・出席委員

小林千登世 清水由佳 増田祐美 松木春菜
太田光洋（長野県立大学健康発達学部こども学科長兼教授）
栗田喜美江（さみずっ子保育園長） 押鐘裕子（保健師）

・欠席委員

山口智美 眞喜志亜矢子 長崎夏美

・出席事務局員

若林子育て支援係長 横田保育士

・出席説明員

（株）アーキプラン 2名

開会 10:05

あいさつ

1. 協議事項

- (1) 公園（園庭）の工事スケジュールの変更について
- (2) 建物の最終設計図について
- (3) 公園（園庭）の設計案について

3. その他

閉会 11:50

あいさつ

委員長：挨拶の言葉あり。

1. 協議事項

- (1) 公園（園庭）の工事スケジュールの変更について

事務局：皆様には、令和2年度に本体を建設し、翌年の令和3年度に園庭を完了させ、4年度の4月オープンとお示ししてきましたが、新たな国の交付金を活用することが決定し、令和2年度内にすべての工事を完了させることとなりました。この交付金事業は、内閣府の制度でハード事業のみを対象とするもので、当初計画しておりました、2年目、3年目の事業を前倒しして実施することが可能となりました。事業費についてもやや増高して、当初の皆様からいただいたご要望を概ね反映できることとなりました。備品整備についても前倒しとなります。このようにスケジュールを変更して実施することとなりましたが、住民の皆様にとっては、1年早くご利用いただけます。（地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金の概要を別添資料で説明）

オープンが1年早くなることで、委員の皆様には、2年かけて新施設で実施する事業施策についてご意見を伺う予定でしたが、この期間も半分になり、急ピッチでご協議いただくこととなりましたが、ご協力をお願いいたします。

今後の当面の大まかなスケジュールは、連休明けに建物の工事の入札となり、6月か7月には工事に入ります。8月には公園のリニューアル工事を着手し、建物、公園は令和2年3月には完成させる予定です。

委員長:良かったです。少しですが豪華になりますね。ご質問がなければ次に進みます。

アーキプランさんからご説明をお願いします。

(2) 建物の最終設計図について

アーキプラン: 前は予算が厳しいという事で縮めた案をご提案しましたが、交付金を変更されたということで、最終的には戻ったということになります。前回からの変更事項は、担当から説明します。

アーキプラン: 1階は東側、2.7メートルで小さかったものが元に戻りました。2階は1.8メートル短くなっていたものが元に戻り、外形自体は以前と一緒です。絵本コーナーや和室がちょっと小さくなっていたものが戻りました。玄関は前回と大体一緒です。設備的な関係でPSという設備関係のスペースを一部とっているところもあります。玄関入って頂くと下足コーナーですが、以前は左右両方にあっただすけれども、右手の窓の近くの部分は設備的な物が入る関係で、入って左側が全面の下足になっていまして、右側は職員さん用の下足を一部作っています。ホールには多目的便所と相談室、倉庫や階段があります。そこからプレイルームに入って頂きますと、事務室のあたりですけれども、こちら南側部分は少し高めのカウンターになっていまして、ランチコーナーの部分のあたりは、高いカウンターではなくて、低い机になっています。ホールからプレイルームに入ると、事務室は閉じているような形ではなくて、全体的に広い空間を認識して頂けるかなと思っています。プレイルームの間には構造の関係でどうしても柱が入ってしましますが、丸の柱にすることで、子供達がそこにおいて、触れたりしても、危なくないですし、逆に木を直接感じてもらえる場所になればいいかなと思っています。あとは前回のところとほとんど一緒だと思います。プレイルーム2の方は、前回の大きさに戻りまして、壁際には3段ぐらいの絵本を飾るような壁になっています。和室の部分の角の所は、低い絵本棚を設けてたつぷりと収納することが出来ます。和室の授乳コーナーは、前回窓にかかっている部分などもありまして、西側のところにカーテンでくくられた所が2つのスペース設けてあります。デッキは、あまりメンテナンス的には良くないという事で、階段になっていましたが、素材としてはコンクリートではなくて、デッキに付随の階段になっています。出たところは、すぐに階段になってしまうと危ないので、少しスペースがあって階段でトントンと3段下がるような形になっています。こちらのテラスという部分が斜線になっているところは、ゴムチップの舗装で危なくないような素材になっています。上にいって

頂いて、犬走で周りをグルッと囲ってあるところはコンクリートになっています。2階に関しては前回よりもコミュニティスペースが約90センチ広がったことと、ワークスペースと多目的会議室が90センチ広がっていて、合計で1.8メートル広がっています。コミュニティスペースは真ん中のL字で書いてあるものが60センチ角くらいのキューブ状のソファですが、これは動かせる物なので、イベントをやるときには端に寄せて使ったり、L字の形でなくても場面によって形を変えて使って頂ければいいなと思っています。L字のソファと普通のテーブルと椅子というような形で、ここは一人の方も何人かで集まる時も両方使って頂けるような場所にと考えています。作業室の前の少し壁が凹んでいる所は、ここに棒が一本書いてあって壁に収納になっていて、コートを掛けられるようになっていきます。基本的にグループ個室はガラスのパーティションになっていまして、このパーティションは天井まで上にいっているものなので、音漏れはせず会議だったりTV電話等をして頂ける所になります。他の場所は東側にL字のパーティションがあるんですが、これは上までいっているものではなくて、身長くらいの高さのパーティションなので、上が空いていて、ただそこに入ると個室のような形で集中して仕事ができるような場所になっています。あとは低い収納、荷物を置ける場所になっています。次の立面図を見て頂ければと思いますが、前回この建物が、雪が落ちることを前提ということで話題になったと思うんですけども、雪止め金具などは用いずに基本的に雪を落とすという考え方でなっています。なので、出入り口は雪が落ませんが、デッキの先部分は雪が落ちる可能性がありますので、冬季は基本的に通らないようお願いできればと思います。あとは建物の下、地面から近い所に一本線が入っていますが、そこが基礎の立ち上がりになっていまして、下までがコンクリートです。やっぱりこちらは雪に対して強い建物にしたいという考えで基礎を上げて木材を守る設計になっています。その関係で床レベルと地面レベルとどうしても段差が出来てしまいますので、北側託児室から外に逃げられるように一部吐き出しになっているんですが、階段を使って地面の所に降りて行くような形になっています。南立面図に関しても出入り口はフラットで入れますが、その部分と地面とは少し段差が付きますので、こちらも階段で降りるような形になっています。外壁は基本的にサイディングですけども、一部南のデッキは木を貼っています。木の劣化というのはもちろんあるんですけども、ここは軒がかかっている所なので、日焼けによる劣化だとか雨になかなか濡れづらいという事で、本物の木で優しい印象になればと思っています。

木造なので、どうしてもまわりの地面と差が出ます。フラットにしたいのは山々なんですけど、どうしても階段が出てきてしまうと。しかし車椅子で入って来る方もいらっしゃる玄関だけはゆるやかなスロープな手すりが付くという設計です。

委員長：平面図に関して、何かご質問は。

事務局：飯綱町内産木材の説明をお願いします。

アーキプラン：飯綱町内で今、杉とカラ松の木がありまして、新庁舎でも使われるそうですが、それを出来るだけ使いたいという町のお考えです。ただ構造材になってしまおうとお金がかかります。構造ではなく見えて触れられる場所で、腰壁だったり家具だったり、そういった手の触れられるような部分に町の木を使っていくということになりました。

太田教授：落雪の屋根にするということですが、南側のデッキ側の方だけ不落雪にするというのは出来ないのですか。

アーキプラン：様々な方法を検討しましたが、堆雪の架重に耐える構造となり、かなり高額になると同時に計算結果によっては工法（鉄骨）の変更も予想されます。大雪

太田教授：そういうことですか。落雪にしても安全に配慮したものですね。

委員：雪が降ったら屋根の下で遊ばないということですね。

太田教授：あとは西側に2階の雪が落ちてくるので、そうすると玄関テラスの正面からのアプローチと西側からのアプローチも冬場に西側からのアプローチも難しくなりますね。ワークスペースのガラス貼りの話ですけど、僕よりも皆さんの方が、電話とかパソコンで会議とか多いと思いますが、閉じていた方がやりやすいですか。最近僕らはWeb会議が結構あって、パソコンを前にして話をしますが、その時部屋に鍵をかけて、人が来ないようにしないと出来ないということが増えてきました。ワークスペースで仕事される時に、グループ個室だったら閉じてやれますが。いかがですか。

アーキプラン：レールカーテンが入っているので、視線はレールカーテンでカットする事ができます。

太田教授：音が聞こえますね。

アーキプラン：そうですね。これは建築の法規的な関係もありまして、密閉空間にすると基本的に窓をつけなければなりません。なんとか実現するために、ここには非常照明とか鍵を付いたり、エアコンを別々に付けるという制約が出てきます。個室をいっぱい作ってしまうと、そこにエアコンを1台ずつ付けることは設備的に過大となり、1箇所グループ個室と、相談室もあるので、そういった個室で対応していただくようお願いします。

太田教授：多目的会議室とか空いていれば。相談室もあるから3箇所が個室。パーティションでは上まで仕切ってはいけないのですか。

アーキプラン：簡易的なものでもだめです。上が空いていればいいんですが。

委員長：グループ個室の関係はガラスでよろしいですか。皆さん。いいですか。

（全員承認）

太田教授：県立大学の研究室はガラス張りで、教員には不評です。後からシートを設置しました。教室もガラス張りで、試験とかセンター試験とかやる時のために全部ブラインドつけました。外歩く人で気が散るのでしょうか。必要だったらつければと思います。

アーキプラン：レールカーテンはすべて付きます。

委員：冬の間はウッドデッキでは遊べなくなっても、今年のように雪が少なければ問題ありません。堆雪か落雪か二者一択となると迷いますが。先程太田先生がおっしゃられたように北側は落雪で南側は堆雪ということは試してみる価値はありますか。予算的に出来れば冬もゴムチップで遊べます。

アーキプラン：貴重なご意見なんですけど、時間がありません。冬の間はぜひ安全な園庭で遊んでもらうということで、お願いいたします。

委員：ちょっと離れた危険のないところで遊べばいいですよ。

委員長：ご意見ありがとうございます。他に何かありますか。

委員：絵本コーナーのスペースが狭くなったようですが。

アーキプラン：プレイルーム2の東側、窓が2つありまして、その下に棚がずらずらとあるような形です。和室側が絵本の収納があって、壁面一面、絵本が見えるような形で飾られます。

委員：そんなに本はないのでは。

事務局：本棚の件ですが、可動式の床の上いくつか置くラックでも当然使いますが、実は、長年の町の環境活動に尽力された、「町のリサイクルを考える会」の皆様から、この度の解散に伴い、25万円のご寄付を頂きました。ご寄附の主旨は、ぜひ新しい子育て支援センターでの絵本の購入にとのこと。かなりの量の絵本を頂戴できることになり、私ども大変喜んでおります。ご寄附の主旨に基づいて、せっかくだからきちんと専用コーナーを作りたいと考えています、会の皆さんは高齢の方々ですので、利用者のお子さんやお友達、おじいちゃんおばあちゃん達と一緒に本を読んだり交流ができればと思います。量がありますので、乳幼児と地域の見たとの憩いの場としたいです。会の方がいつ来ても、「ああ私達がお上げした本使っているんだな」という事も含めて、当初計画になかった本棚をここに作らせていただくたく思います。できれば〇〇文庫というコーナーにしたいです。よろしくお願いいたします。ご寄附の詳細は今月末の広報紙をご覧ください。

委員：本棚が邪魔になっても困りますね。イベントの時は、壁は大事。何もない壁。

太田教授：壁は残して、可動の家具で本を見せることも。壁面には必要ないときは外せる可動家具の方がやりやすいと思う。

委員：ゆくゆく本が増えていくような気がして、ご寄附があつたり、いらぬ本が出てきたら寄付されたりとか。貸出はしないのですか。

事務局：貸出はしない予定です。

委員：町民会館のプレイルームにある本で十分くらい量。小さい子ならそれで済んでいきます。

委員：もっと大きい子供の本まで揃えることはないですね。それならそんなに壁じゃなくても良い気がします。図書館もありますし。

太田教授：本は見える形で置いておいた方が。親もこんな本もあるんだねみたいなのも大事だと思います。子供向けの絵本だけじゃなくて、子育て中のお母さん向けの絵本も今いっぱい出ているので、そういうのも少しあっても良いかもしれないですね。この計画でいいと思います。

委員長：計画どおりそのままという事で。他にありますか。

アーキプラン：素材に関して説明します。(床・壁サンプル提示)

これが床に貼るものでパイン材、壁にカラ松です。どちらも無垢の材料です。

事務局：県の林務課のご案内で実際に見てきました。床板にするパイン材は手を当てて頂くと自分の体温がすぐわかると思います。

委員：何もコーティングしてないものを使うのですか。

アーキプラン：コーティングは少しします。ご覧のサンプルが仕上がりと同じです。

委員：掃除は大変ではないですか。シミとか。

委員：メンテナンスを求めるのか、素材を求めるのかですね。

委員長：それでは次に進みます。

(3) 公園（園庭）の設計案について

事務局：設計の説明に入る前にご報告します。公園内での人の動線を検討していただきましたが、大型遊具を設置するとやはり狭いということになり、当初図面の駐車場1列分を完全に拡幅して、公園の敷地を広くすることになりました。駐車スペースの代替として、現在花ボランティア皆さんの花壇がありますが、この花壇を駐車場に変更することになりました。若干数台分は少なくなります。公園を広くすること優先にします。また、いつもはボランティアの会の皆さんが一所懸命作ってくれていたんですが、やはり皆様高齢で、花作りは遠慮したいというご意向もあり、この代替の駐車スペースを確保させて頂くことになり、今回設計に反映させて頂くことになりました。よろしく願いいたします。

アーキプラン：1枚目が既存の撤去図で現況の絵になります。この中で、何を撤去して、どこに移設するのかを示しています。2枚目が外構図で、これと見比べながらお願いします。公園を駐車場1列分広げる形にしますので、設建物へのアプローチは舗装です。水平ラインはインターロッキングブロックが敷いてありますがすべて撤去します。アスレチックはもう古いので撤去し新しくします。移設するものとしては、小さな馬とか猫とかのスプリング遊具、滑り台とブランコです。藤棚は撤去します。2枚目は今回の外構計画分で、前回と変わったのは、先程の拡幅部分に配置する遊具と大きなアスレチックの設置場所です。アプローチは一気にやりかえてしまうという事で、入り口の左側からハイレグにコンクリートの仕上げになります。あとは、砂場が2つ、あと滑り台とブランコはこの位置に移設しています。それから水遊び場、これをアプローチのちょっと右側に入った、だいたい公園の真ん中のあたりに水遊び場は設置。後ほどイメージ図お見せします。それから、既存の樹木と樹木の間には築山を設けます。

築山はこの位置でいいのかお聞きしたいと思います。一番トップでも1メートルもいらないくらいです。どれくらいの子供が使うかって事もあるのですが。

委員：1メートルくらいはあった方がいい。

アーキプラン：建物の基礎工事で出た土を使う計画です。左射線は芝生を張る場所です。インターロッキングを剥いだ部分、築山、水遊び場の近く、砂場跡です。小さな子供達が遊ぶ専用の庭も芝生を張ります。最低限張って、後は伸びるのを待つというものです。

太田教授：築山の芝いらぬですね。土のままです。だんだん減っていくと思うのですが。砂場の砂もそうですけど、メンテナンスで足して行ってやらなきゃいけないことが出てきます。その時に車が入れるようにしておくことを考えておいた方がいいでしょう。

アーキプラン：わかりました。

太田教授：ここに後から芝を張る手前の駐車場側は、段差がありますね。小さい子の遊具、どうなのですかね。

アーキプラン：上にあつたほうが良いですか。

太田教授：フェンスもありますね。

アーキプラン：はい。そうです。丸と棒線部がフェンスです。ロープ柵です。今後利用者さん増えるので、少し駐車場との間に入れといた方が良くということ、この程度の物にしてあります。

太田教授：柵でいいのですか。潜れば行ける。今も公園と駐車場の間には何もありません。

委員：少し心配です。

太田教授：この下の駐車場のところに行くには、階段を何段か降りるかアスレチック経路で行くかです。図面で左側は平らになってくるんですけど、右側行くと下がって行く。遊具は上の段に。そうすると、上が狭くなる。詰込みになります。せっかく広げたのに、あんまり下の面が使われなくなるかもしれない。小さい子供って土手を登ったり降りたりするのは好きですね。既存の木は動かさぬですかね。

事務局：動かさぬです。

委員：飛び出した時に怪我をしないでしょうか。小さな子供の遊具があると、その危険性が高くなるので心配ですが、お母さんは目を離さないでほしい。

委員：フェンスだと外観が悪くなる。

事務局：大きいアスレチックは小学生も沢山使います。大人しい遊びをする子と、動きのある活発に遊びをする子で分ければ、ぶつかったりしません。大きい子の方が道路に飛び出して危ないとかわかってるだろうから、安全面にもいいのかと思います。

委員：滑り台とブランコを下の段にして、小さい遊具を上はどうか。

委員：傾斜下がっているとこに大型遊具は配置的に無理では。

委員：平らなところにブランコ設置がいい。

太田教授：ロープ柵じゃないフェンスで自然な感じのものはないでしょうか。やっぱり事故だけは嫌ですね。

委員：ちょっとかわいいフェンスがいい。

太田教授：結局いろいろ注意したりだとか、色々管理したりする人達も利用者に注意しなくちゃいけなくなる。注意された方も面白くなくなっちゃう。小さい子だと車の影に入ってよく事故にあったりとか、やっぱり起きちゃうんで。そこは美観を多少犠牲にしても子供に何かあることは避けた方がいい。コストのことも心配ですが、フェンスを付ければ、この下に小さい子の遊具があっても問題はないし、子供の自由度は高くなるって気はします。

アーキプラン：検討いたします。次に新たに設置するアスレチックですが、A4の1枚目2枚目ご覧ください。色々な組み合わせがあって、どうにでも出来ます。例えば1枚目の右側の新しいボルダリングの要素を入れるとか。

委員：滑り台はあった方がいいです。

アーキプラン：ボルダリングはどうですか。

委員：ボルダリングはあった方がいい。あると楽しいかもしれない。

太田教授：垂直に普通に上る梯子とかあるといいと思いますが、この中にはないですね。
(基本レイアウト図により意見交換)

委員長：3種類のうちどれを基本にしても組み合わせは自由だそうですので、具体的にお願いします。

一同：トンネルではなく吊り橋

ボルダリング

ロープで登るもの

委員長：だいたい決まってきたと思います。

アーキプラン：ご希望をいれながら、もう一度遊具メーカーと相談して、あとは一任頂くといい形でしょうか。

一同：了解

アーキプラン：水遊び場について、A4の一番最後の図面です。もともとは噴水のご希望がありましたが、噴水になると、あつという間に1,000万円がかかります。とても入れられないという事で、真ん中がちょっとへこんだすり鉢のような形にして、少し水を貯められるものを検討しました。この周りに付いている3つはそれぞれ水洗がついていて、足を洗ったり手を洗ったり、という1個ずつの水洗金具が3つ付いています。水を溜めなければ、通常の水洗で、夏場水遊びしたいときに、水を溜められます。直径4メートルぐらいです。

委員：意外と広いですね。

委員：あまり深くなくてもいいですね。

アーキプラン：一番深いところで15センチです。

太田教授：いっぱい淵までヒタヒタに溜めなくてもいいわけですから。

アーキプラン：どこまで貯めるかは使っていただく方にお任せします。バルブかなんかを横に付けて、バルブを閉じるとここが排水できなくなるという形にしたいと思っています。まだ設計が進んでいなくて、今後これからどうやるか考えていきたいと思います。

太田教授：コンクリート製ですか。

アーキプラン：そうです。角もこんなに出してはいけないので、もっと丸くします。

委員：芝生は水をやらなくていいのですか。

アーキプラン：最初はやらないとだめです。

太田教授：芝生の水やりは芝が根付くまでですよ。いったん付いてしまえば。

委員：子供は水遊びが大好きです。子供にも手伝ってもらって。

太田教授：この辺に1個水飲み場があってもいいかもしれないですね。

アーキプラン：そうですね。真ん中の方にですか。

太田教授：アスレチックの周辺とか。もっと下か。

アーキプラン：トイレの南側に既存の水飲み場があります。塗り替えをします。

事務局：トイレ近くに防災機能をもった自販機の設置を考えています。

太田教授：今はWi-Fiがつながる自販機もあります。

委員長：災害時はネットが繋がらなくて大変でした。水遊び場についてはよろしいですか。

太田教授：水洗の高さはどのくらいですか。

アーキプラン：70～80センチです。

太田教授：結構高いですね。子供が隠れちゃうかもしれないですね。

アーキプラン：もっと低くします。

委員：水飲み場にホースを使うことはできますか。

アーキプラン：できます。

委員：蛇口に穴あきホースを付けて、そのまま芝生に沿わせれば水やりがすごく楽です。

委員長：それではだいたいまとまってきましたが、決めなきゃいけないことはよろしいですか。

太田教授：アプローチのコンクリートは、どんなコンクリートですか。なんかあった方がいいかなってちょっと思ったのですが。コンクリートの中にビー玉を埋め込んでいくとか。

委員：みんなでやるのはたのしい。子供は結構好きかもしれない。

委員：自分の手形を付けるとか。

太田教授：コンクリートでも、色をつけたり模様を描くようなものがありますよね。あまりここでは使いにくいですか。

アーキプラン：最近実はある物件で、ビー玉を設計に入れたんです。そしたら施工会社がすごく難しいと。コンクリートを打設してまだ柔らかいうちにビー玉を仕込みますが、そうすると周りが盛り上がります。それを平らにするようにそれを1個1個手作業となり、結局やめになりました。四角なタイルにしてかわいいんですけど意外とお金がかかります。

委員長：アプローチについては何か考えていただくことでよろしいですか。

アーキプラン：わかりました。

事務局：ちなみに建物の中にみつどんを工夫して扉などに入れていただくなどしてもらっています。

委員長：それでは、お決めいただくものはこれでよろしいかと。ありがとうございました。

事務局：頂いたご意見をアーキプランさん詰めていきたいと思えます。もう1週間くらい、皆様の質問やご意見を頂戴する期間にして、特段なければ、入札する設計作りの方に入っていきたいと思えます。よろしければ、今日頂いたところ検討結果を箇条書きにするなどして報告させていただく形にしてよろしいでしょうか。

一同：了承

事務局：4月の第1週目中に、今日の言い足りなかったことなどがございましたら、事務局までご連絡ください。何卒ご協力をお願いしたいと思います。それでは以上を持ちまして7回目の会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

閉会